

インターネット水道モニター個人メールアドレスの流出について

インターネット水道モニターに対してアンケートの開始連絡をする際、モニター471名のうち72名の方に対し、他の受信者のメールアドレスが判別できない方式（BCC）に設定して送信すべきところ、他の受信者のメールアドレスが判別できる方式で送信してしまいました。

1 概要

- (1) メールの送信先
インターネット水道モニター471名のうち「カ行」の方72名
- (2) 流出した個人情報
メールアドレス72件

2 経過

1月22日（金） 9時25分	サービス推進課職員が、インターネット水道モニター471名に対して、本年度6回目のアンケート開始の連絡を、メールにて5回に分割して送信。
9時34分	モニターの方から返信メールがあり、9時25分に送信したメールを確認したところ、「カ行」のモニターの方あてのメールが、お互いのメールアドレスが見られる状態になっていたことが判明。
10時35分	モニターの皆様に対して、お詫びと状況説明及びメール削除をお願いする内容のメールを他の受信者のメールアドレスが判別できない方式（BCC）に設定して送信。

3 原因

メール送信の際、他の受信者のメールアドレスが判別できない方式（BCC）になっているかどうかについて、複数の職員による確認を行いました。が、不十分でした。

4 今後の対策

個人情報を扱っていることを認識し、メール送信の際、他の受信者のメールアドレスが判別できない方式（BCC）になっているかどうかなど、複数人によるダブルチェックを再度徹底するとともに、個人情報の重要性や確実な事務の取扱いについて、全職員に注意喚起を行い、再発防止に努めます。

お問合せ先

水道局サービス推進課長 吉野 稔也 Tel 045-633-0119